

平成 18 年度前期 教養科目群の授業評価アンケート結果の通知について

全学共通教育センター長 佐野勝徳

諸般の事情により通知が大変遅くなりましたが、平成 18 年 7 月に実施しました全学共通教育・教養科目群の学生による授業評価アンケートの結果がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。アンケートの実施にあたってご協力賜りましたこと、御礼申し上げます。

今回ご通知する内容は、次の 2 種類です。

- 1) 担当教員別の「学生による授業評価アンケート結果ならびに成績評価」
- 2) それらの結果を科目群全体と比較したグラフとアンケートの「自由記述」

ご覧いただくと判りますように、今回の授業評価アンケート結果の通知にあたりましては、授業評価アンケート結果のみならず、受講状況や成績評価も併せて通知するとともに、それらを全体との比較ができるように配慮しました。これは、アンケート結果をできるだけ多角的・総合的な視点から把握していただき、今後の授業改善に役立てていただきたいと考えたからです。授業評価アンケート結果や受講・成績評価状況についての総評については、次のページをご覧ください。

大学教育に関しては教育目的・目標の明確化やその到達度、さらに教育(授業)方法の改善や成績評価の適正化が強く求められています。こうした状況の下で、「学生の多様な個性を尊重し、人間性に富む人格の形成を促す教育」を教育理念に掲げる徳島大学全学共通教育においても、教養教育として質的・量的にさらに充実した授業の提供を目指しているところです。そのための1つの試みとして、「授業評価アンケート結果」に「全学共通教育センター長の所見」欄を設けています。各授業担当者におかれましては、今回のアンケート結果の通知にあたってこうした状況を斟酌いただくとともに、今後とも全学共通教育の実施にあたってご協力賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

成績評価について今回はGPC※を用いましたが、授業科目間のみならず、授業担当者間でも大きなばらつきがみられます。シラバスの中で成績評価について明確にしてくださいなど改善が図られつつあると考えていますが、今後、全学共通教育センターとしては併せて成績評価の指針についても検討していく所存です。

※ GP (Grade Point) は単位取得者ごとにその $GP = (\text{評点} - 50) / 10$ を計算した数字 [例: 評点が 75 点の場合には $(75 - 50) / 10 = 2.5$]。ただし、60 点未満は 0 点とする。GPC は、授業科目(クラス)ごとの GP の総和を総受講者数もしくは単位取得者数で除したもの (GP のクラス平均値)。

また、学生による授業評価アンケート結果ならびに成績評価については、授業改善の一環として、科目別に全学共通教育FDやウェブ上で順次公表していく予定であります。この点についてもご意見があれば、共通教育係までご連絡いただければ幸いです。なお、各先生方に配布したシートなどは、冊子にしてセンター長室に保管しております。

平成 18 年度前期 教養科目群の授業評価アンケート結果の見方と総評

全学共通教育センター長 佐野勝徳

- 1) 平成 18 (2006) 年度前期の教養科目群の総授業数 (成績提出により計数) は 113 で、アンケートが実施された授業数は 102、実施率は 90.3% でした。
- 2) 授業評価アンケート結果の中段にある「アンケート結果表」は上段左に記載してある質問項目に対する学生の回答の度数分布表です。「未」は無回答あるいは記入ミスと思われる回答の数です。
項目 2~5 の平均値は「学生自身に対する評価」の平均値、項目 6~10 の平均値は「教員に対する評価」、そして項目 2~12 の平均値は「全体」の平均値です。なお、上段右はアンケートの回答数をグラフにしたものです。
- 3) 下段左の「受講者数・GP の概要」「評点・GP (成績) の分布」は学務系のシステムにあるデータをもとに作成したものです。
- 4) 下段右の「授業実施状況」は、成績表と同時に提出していただいた「授業実施報告書」より作成しています。成績評価の方法の選択肢は、(1) 期末試験、(2) 中間テスト・小テスト、(3) 期末試験に代わるレポート、(4) 授業中の課題レポート、(5) 学生の発表・報告、(6) 出席回数、(7) その他となっています。
今後とも、成績評価にあたっては、個々の授業やシラバスの中で評価基準やその到達目標を学生に伝えるとともに、期末試験のみならず、中間テスト・小テスト・レポートあるいは出席状況などにより、総合的に判断していただきますようお願いいたします。
- 5) 2 枚目は、全体の平均と当該授業の値をグラフに示し、比較したものです。
GPC が相対的に高いと思われる授業が 10 授業、低いと思われる授業が 7 授業ありました。これらの授業については、「全学共通教育センター長の所見」欄において、成績評価の適正化をお願いしました。
学生の教員に対する評価 (項目 6~10 の平均および項目 11) では、「相対的に高い評価を受けた」授業は 18 授業でした。また、「相対的に低い評価を受けた」授業は 11 授業でした。これらの授業については「全学共通教育センター長の所見」欄において、授業改善の努力をお願いしました。
学生の評価が高かった先生方は以下の方々です。敬意を表します。FD での報告や授業参観などの要請にお応え頂ければ幸いです。
歴史と文化：有馬卓也、高橋晋一、平木美鶴、鳥羽耕史、宮澤一人、岸江信介
生活と社会：西川義晃、田中耕市、饗場和彦
自然と技術：山本裕史
ゼミナール科目：伊藤孝司、吉田昌裕、佐野茂樹、石田啓祐、際田弘志
創成学習科目：佐藤征弥、松谷満、岸江信介
センター長の所見は、学生の授業評価の平均値、成績分布などを基に作成いたしました。概ね相対的なものとお考え下さい。
- 6) 自由記述の欄は、学生のコメントをそのまま転記しました。授業計画の参考にしていただきたいと存じます。